

# 『風は南から』

令和5年度 校長室便り  
(3月4日)(第24号)



## 自分の花を咲かせるために

先日本を読んでいましたら「朝顔の花」について書いてありました。朝顔は朝の光を受けて咲くと思われていますが、蓄に24時間光を当てても咲かないそうです。朝の光に当たる前に、「夜の冷気と闇に包まれる時間が必要なのだ」と書いてありました。卒業式の答辞で、3年生の脇山茉莉亜さんは、「高校生活は楽しいことばかりではありません」と語っていました。でもそのきついことを仲間と協力しながら乗り越えたからこそ、どの卒業生にも、「シラユリ」のような華やかな笑顔がうかがえたのだと思います。作家の渡辺和子さんは、2つの選択肢があるのなら、「人としてより良い方を選びなさい」と言っていました。それがたとえ困難な道であろうとも、敢えてその道を選択するだけの勇気を持ちたいものです。

## 3月1日「第74回卒業式」



3月1日(金)第74回卒業式が挙行され、69名の3年生が卒業しました。答辞の中で、3年2組脇山茉莉亜さんは、先生方や在校生への感謝とともに、育てていただいた保護者に対して、「強くかっこよくて、厳しいけれど優しくして。そんなあなた方が私の一番の自慢です。18年間どんな時も愛してくれた恩は決して忘れません。必ず大きくなって島に帰ってきて恩返しをします。たくさん長生きをしてその時を待っていてください」とお礼の言葉を述べました。そして、生徒会長の今井ひなたさんは、「これからは、先輩方が築き守ってきた伝統を、私たちが受け継いでいきます。先輩方が誇りに思えるような沖高を私たちが守っていきますので、時折様子を見に来てください」と思いを込めて送辞を述べました。朝から降り続いた雨も上がり、清々しい余韻の残る卒業式となりました。来賓の方々からも「いい卒業式でした」という感想を多くいただきました。

## 2月29日「ディベート大会」



29日(木)1年普通科の「せりよさ(総合的な探究の時間)」で、沖永良部島の問題をテーマにしたディベート大会が各教室で行われました。1組は、「沖永良部にスマート農業(機械やAI導入)は必要である」と「島民の医療(妊娠・出産費用も含め)を無償化すべきである」について、2組は「沖永良部島の各所にゴミ箱(海岸漂着物やポイ捨て防止用)を設置すべきである」と「これからの沖永良部は観光(来島者増加のための建設)などに重点を置くべきである」について、グループに分かれて議論し、審査・判定まで行いました。どのグループも根拠となる島の実情についてよく調べており、説得力のある意見が多かった気がします。来年はそれぞれが見えてきた課題をテーマにして、ぜひ深く掘りさげて研究してみてください。

## 2月9日「ジョギング大会」



天候が心配され、開催するかどうか悩みましたが、これまで授業で準備をしてきたこともあり、条件つきで実施することになりました。今年は距離が22キロになりました。不安に思う人も多かったと思います。しかし、走ったあとの感想を聞くと、それぞれが目標をもって大会に臨んでおり、疲れはあるもののお互い讃え合っている姿を見てやって良かったと思いました。1、2位は1時間30分をきってゴールしました。初めての挑戦で素晴らしい記録です。沿道では多くの保護者や地域の方々に応援してくださり、声援が背中を押してくれたと話している生徒もいました。12時前から少し雨が強くなってきたので、それまでに「あしびの郷」のチェックポイントを越えていない人は、残念ながら途中棄権という形になってしまいました。車の中で悔しい思いをした人も多かったと聞いています。その思いを次の挑戦にぜひつなげてください。本当にご苦勞様でした。

## 2月26日 学年朝礼(1年)



2月26日(月)本年度最後の学年朝礼が行われ、1年生に参加しました。まず、生徒代表のスピーチがありました。これまで月日の経つのが本当に早く、2年の進級まで残り1ヶ月となり、残された期間を次の学年への準備の期間にしたいこと、そして2年に進級するまでに、家庭学習の習慣をしっかり身に付けようという話がありました。次に、理科の山下先生の講話がありました。金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩を紹介されました。この詩を読んだ生徒からは、「みんな違うということ伝えてる」「人に言ったことは自分に返ってくる」等の感想が述べられました。山下先生からは、普段何気なく相手に伝えている言葉で、人は傷ついたり励まされたりすることがある。だからこそ、言う前に一度考えてみるのが大切であること、また、みんなそれぞれ個性があり、大切な存在であることを認識してほしいという趣旨の話がありました。

本年度から山下先生が中心となって「人権通信」を配布しています。最後に、「自分の差別心は消えることはないが、研修を重ねることで、それは差別だと気づける自分でありたい」と付け加えられました。有意義な会になりました。

## 「第一工科大学」と高大連携協定を締結

2月20日(水)霧島市国分にある「学校法人都築教育学園第一工科大学」を訪問し、本校との高大連携協定を結んできました。来年度4月以降の「総合的な探究の時間」で皆さんが行う研究の御指導を、大学の先生方に正式に依頼することが可能になります。3月7日には、「志學館大学」とも協定を結びます。来年度の活動が大変楽しみになりました。